

絶対に役立つ！ ライフサイエンス統合データベース



Database Center for Life Science

日時： 2010年9月5日(日) 12:00～12:50

場所： 尾西グリーンプラザ (愛知県一宮市)

**演題 1. 「統合データベースプロジェクト：
オープンで知のめぐりの良い研究社会を目指して」
坊農 秀雅 (ライフサイエンス統合データベースセンター)**

DNA 配列情報や遺伝子発現情報などがデータベースとして利用可能となっているものの、それらの中から医学生物学的に新たな知見を得ることがデータの複雑さや大量さが故に困難になってきています。そのような状況下で、文部科学省による「統合データベースプロジェクト」が 2006 年に立ち上げられました。本講演では、みなさんの研究を支えるインフラとして機能しつつある同プロジェクトとその中核機関であるライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS: Database Center for Life Science) に関して紹介いたします。

**演題 2. 「文献情報を活用した論文執筆支援サービス」
山本 泰智 (ライフサイエンス統合データベースセンター)**

ライフサイエンス統合データベースセンターでは PubMed を始めとする様々な文献情報を利用したサービスの構築に取り組んでいます。今回はその中から次の 3 点を紹介します。1. 生命科学系の文献に出現する略語について、その展開形や関連情報を提示するシステム Allie (アリー)。2. 文献でよく使われる英語表現を軽快に検索するシステム inMeXes (インメクセズ)。3. 文献情報を効率的に管理し、オンラインジャーナルから取得した PDF ファイルを関連付けられ、そして手持ち文献情報を基にしたお薦め文献情報が得られるシステム TogoDoc。

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

ライフサイエンス統合データベースセンター

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部 12 号館 <http://dbcls.rois.ac.jp/>

